



Sherpa/倉庫管理クラウドソリューション

株式会社 日立フーズ&ロジスティクスシステムズ

1. Sherpaシステム概要
 - 1.1 システム概要
 - 1.2 低温物流業務におけるSherpaの範囲
 - 1.3 Sherpaご提供システム一覧
 - 1.4 Sherpaで行う入庫作業(概要)
 - 1.5 Sherpaで行う出庫作業(概要)
2. 導入の流れ
 - 2.1 導入までのステップ
 - 2.2 教育・運用テストの概要
3. 保守サポート
 - 3.1 稼働後のサービス提供について
 - 3.2 運用保守問合せサポートとサービス提供時間

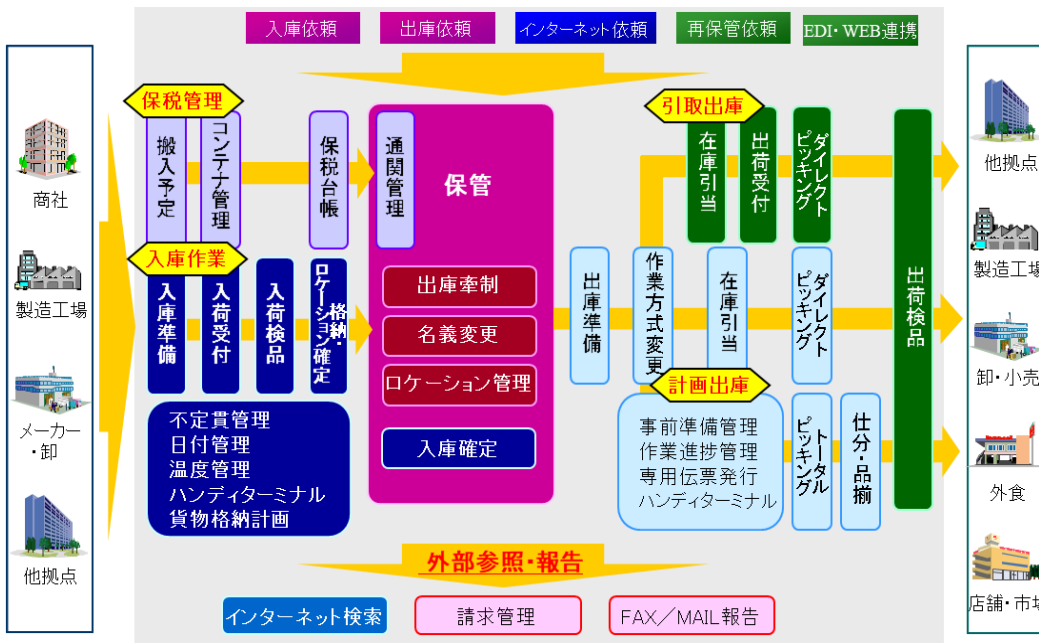
1. Sherpaシステム概要

1.1 Sherpaシステム概要

Sherpa は保管機能を取り揃えたシステムです

最新の物流システムが求める機能のほとんどを実装しています。
WMS基本機能からマネジメント機能含む物流情報系機能まで一貫設計しています。
倉庫管理システムとしてここまで統合化された仕組みは他にありません。

- 雛形システム機能を活用した機能向上、世間一般標準のWMS機能を鏡にした荷主共通機能と固有機能の整理、庫内業務プロセス改善に寄与する機能追加により、WMS標準を策定します



(1) 業務ノウハウを結集したクラウドサービス

低温物流業界最大手の企業グループ約100拠点で稼働しているシステムを元に開発し、冷蔵倉庫管理における業務ノウハウを結集させたパッケージソフトをクラウドソリューションとして提供します。

(2) さまざまな物流センターモデルに対応

さまざまな物流センターモデルに対応する帳票・機能を選択することにより、容易な導入を実現します。これにより、新規荷主への対応を迅速に行えるほか、現場作業効率の向上を図ることができます。

(3) 運用保守までワンストップサービス

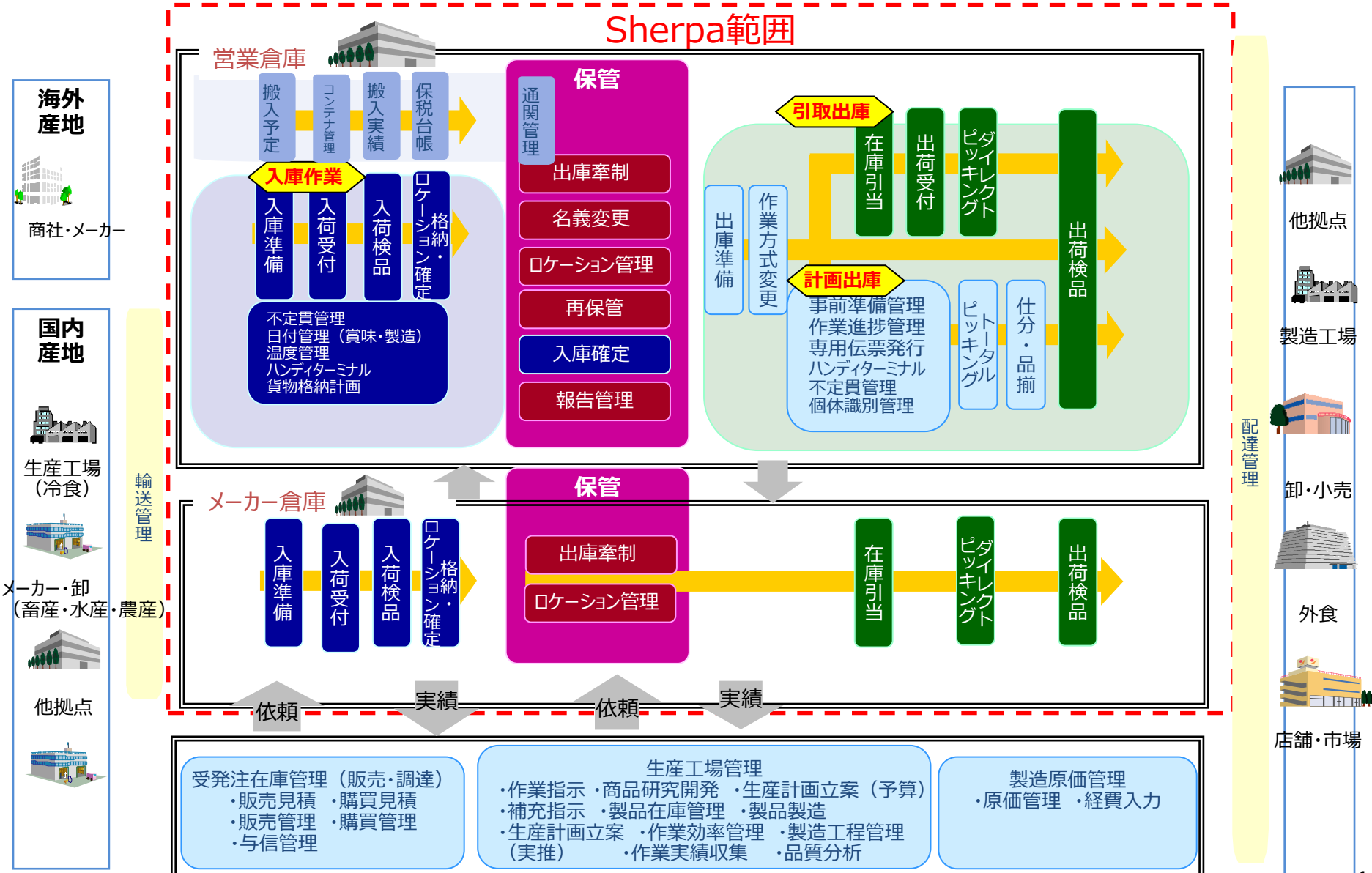
システム導入～運用保守業務までトータルサービスをご提供します。システムは24時間365日常時監視もサポート可能です。

(4) 短期間・低コストでの導入を実現

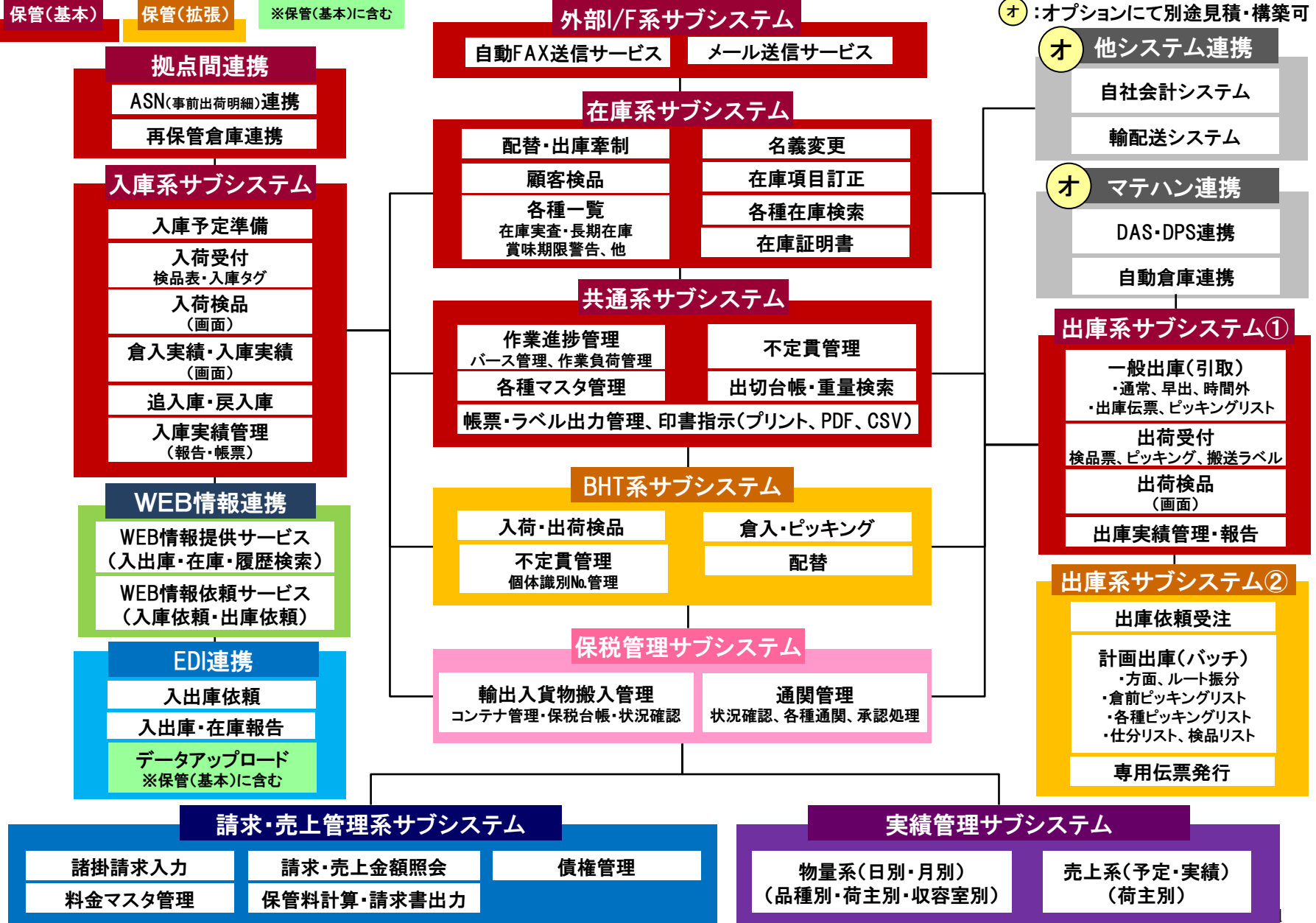
クラウド型として提供されるため、初期導入コストが削減でき、自社でのIT資産(サーバ等)の所有が不要になります。短期間かつ低コストで倉庫管理システムの使用が可能です。

1.2 低温物流業務におけるSherpaの範囲

サプライチェーン別物流センターモデルに柔軟に対応してきた実績と長年の業務運用可能なシステムです

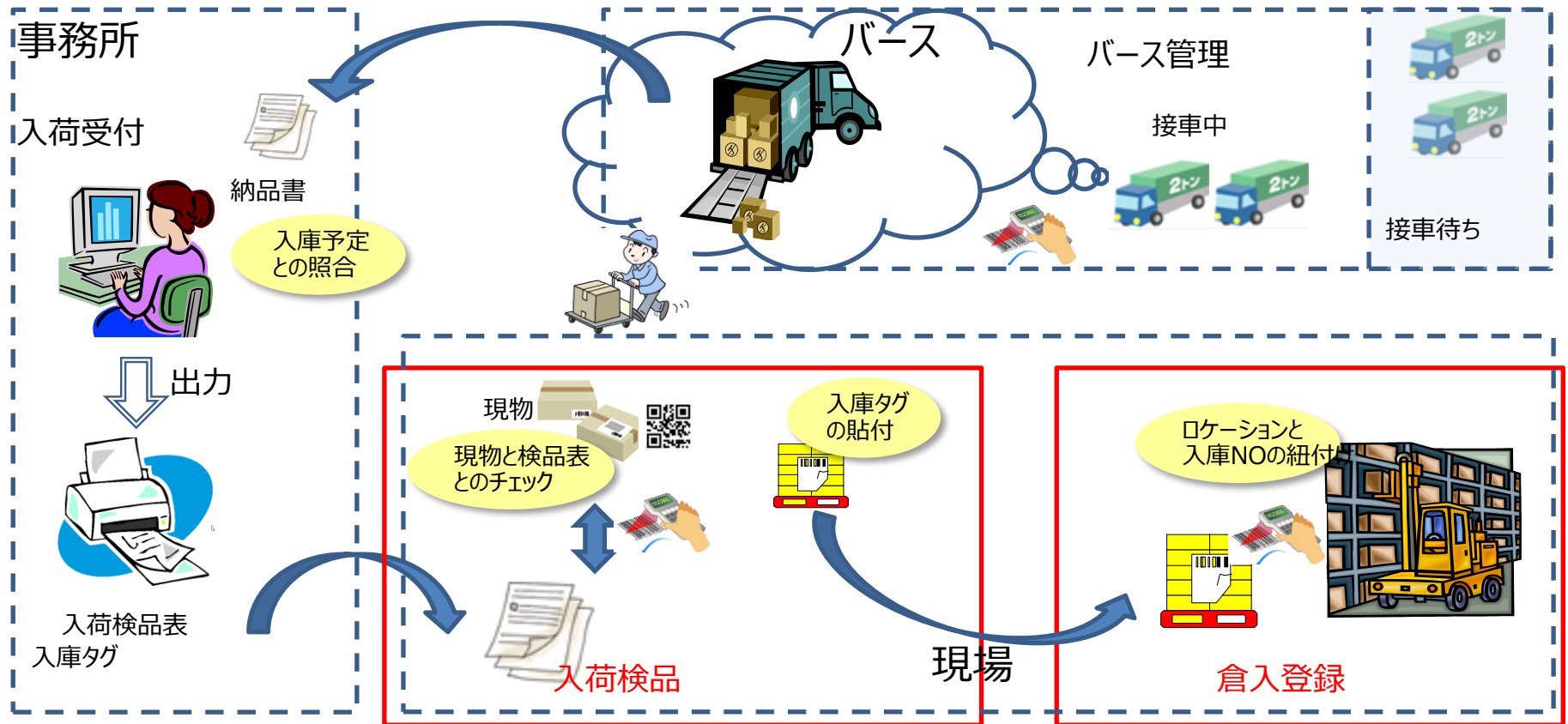


1.3 Sherpaご提供システム一覧



1.4 Sherpaで行う入庫作業(概要)

☆ 誤出荷対策として、入庫時における商品の正確な確認と保管をご提案します



ポイント

- ・入荷作業においては、出荷する際のミスを防止するため予め商品を出荷し易い様に入庫する方法が一般的となっています。
- ・入荷検品時に商品の情報と入庫Noの紐付けを行い、倉庫内作業は入庫Noによる指示により行います。そうすることにより商品知識がない作業員であっても倉庫内作業を行うことが可能になります。

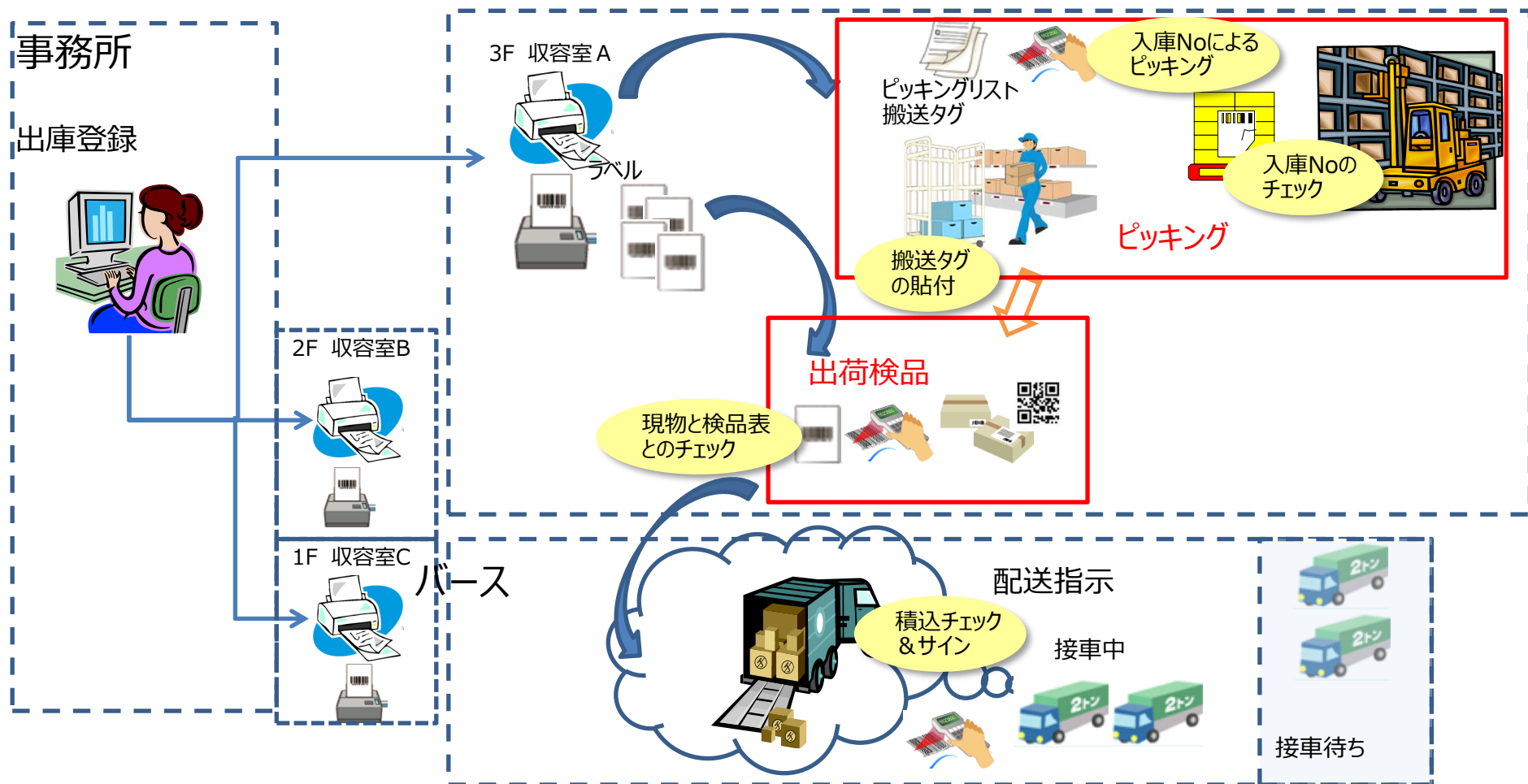
1.4 Sherpaで行う入庫作業(概要)

☆最適な出荷を実現する為の**入荷時**の考え方は、下記の通りです

業務の流れ		Sherpaにおける誤出荷対策と効果
入荷準備	商品マスタの整備	WMS側の商品マスタをメンテナンスすることにより、 詳細な商品情報の管理 が可能。(規格・ブランド・荷姿などを登録しておくことで、バーコードがない商品の目視チェックが可能です)
	予定ロケーションの確定	商品により予定ロケーションを事前に決め、 商品の配置を自動で決定 することが可能。取り違えやすい商品は、別のロケーションに格納することでピッキング誤りを防ぎます。
入荷受付	入庫予定との照合 (貨物荷受けミスの防止)	入荷単位(車両など) に 検品表の出力 し、入荷予定と納品書との照合が可能。予定情報と異なる場合は、事前に訂正入力することが可能。事前に照合することで、検品業務の負荷軽減・業務品質向上に繋がります
入荷検品	検品と現物との確認 ハンディーでの誤出荷対策	<p><商品(バーコードあり)> JAN/ITFコードを読み込むことで品物の確定を行い、賞味期限は手入力を行います。</p> <p><商品(バーコードなし)> <製品> 検品表の項目(商品名、規格、ブランド、荷姿など)の目視確認による品物の確定と賞味期限の手入力を行います。</p>
	入荷単位で入庫タグの貼付	庫内作業含め、入庫NOで管理するので、 作業時に確認する項目や勘違いによる作業が軽減 される。また、1パレットに1枚添付することによって、パレット内で最後の1ケースまで残すことが可能です。(食品の場合は類似製品が多いため、取間違ひなどの誤出荷を防ぐための一般的な管理方法となります)
倉入確定	入荷ロケーションの確定	入荷検品で添付された入庫タグの予定ロケーションを基に保管場所へ行き実際の保管ロケーションを確定することにより、何処に保管したかを明確に管理できます。
その他	入庫タグの再発行	入庫タグが剥がれた場合は、WMSに問い合わせを行い 再発行を行うことが必要 。また、ピッキング時に指示以外の入庫Noの読込はエラーとなりピッキングは不可能、検品時には現物バーコードとのチェックまたは目視チェックによる2重チェックとなるため、誤出荷を防止することができます。

1.5 Sherpaで行う出庫作業(概要)

☆ 誤出荷対策として、出庫時における商品の正確な確認と保管をご提案します



ポイント

- 出荷作業は入庫Noにて指示およびチェックを行うため、ミスを防止することができます。
- 出荷作業方法の変更（作業単位、帳票レイアウトの変更などで作業者が作業しやすくなる）を行うことにより作業品質の向上が可能です。

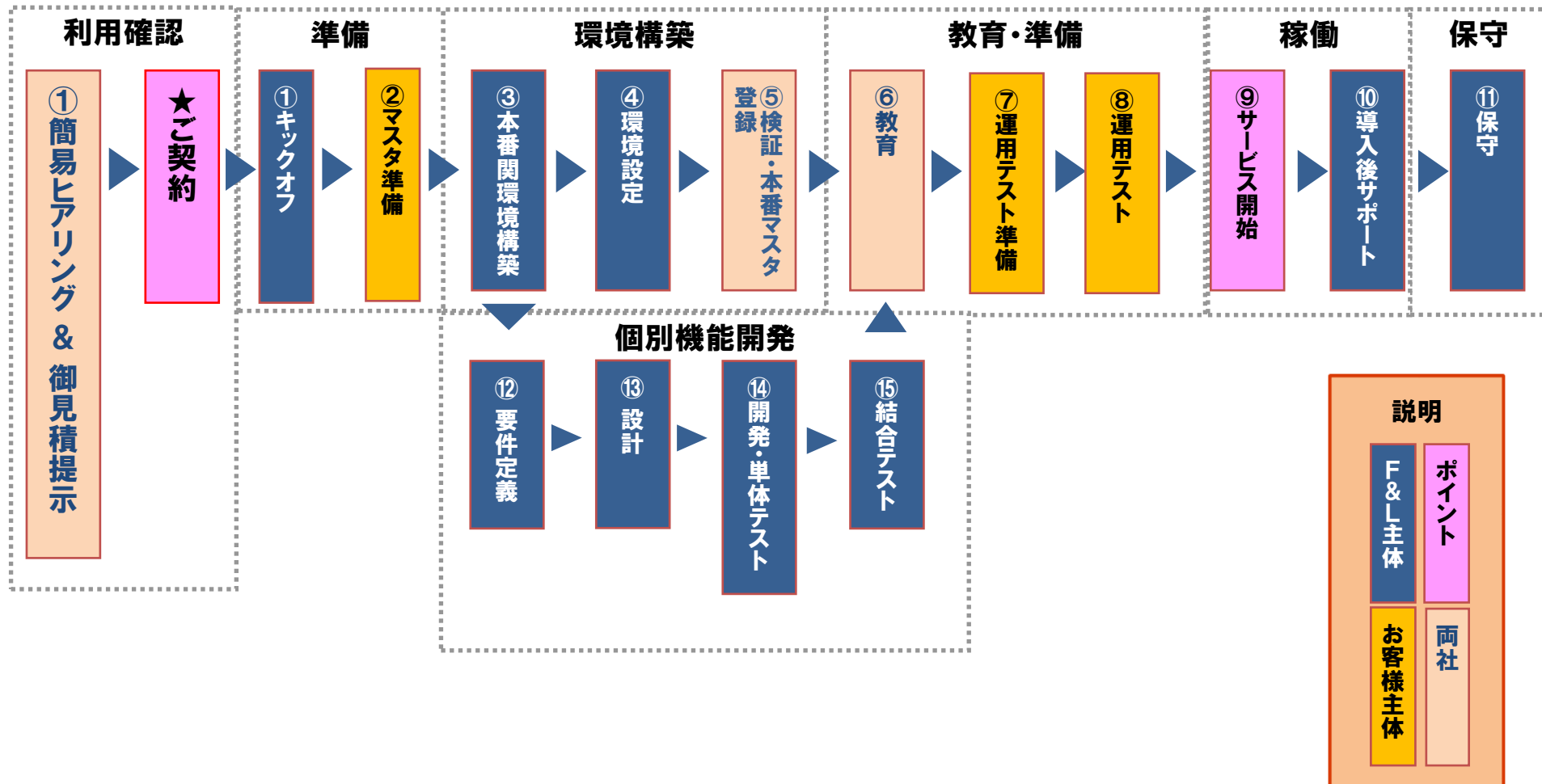
1.5 Sherpaで行う出庫作業(概要)

☆最適な出荷を実現する為の**出荷時**の考え方は、下記の通りです

業務の流れ		Sherpa誤出荷対策と効果
出荷準備	ピッキングの指示	取り間違いなど注意が必要な商品については、作業方法を変えることが可能です。 (ピッキング単位や帳票レイアウトの変更など)
ピッキング	入庫NOによるピッキング	ピッキング指示は入庫Noで行うため商品知識が不要。思い込みや勘違いによるピッキングを防止します。
	入庫タグのバーコードを読み込む <small>ハンディーでの誤出荷対策</small>	ピッキング時に入庫タグのスクリーンを行うため、指示通りのピッキングを行うことが可能。 誤った入庫Noを読み込んだ場合、エラー表示となります。
	搬送タグによる仕分場への搬送	ピッキング指示によりピッキングリストおよび搬送タグが同時出力される。搬送タグによりピッキング場所から仕分け場まで搬送することが可能です。
検品	検品と現物との確認 <small>ハンディーでの誤出荷対策</small>	検品表を基に製品のバーコード、現物の目視確認により品物のチェックを行う。バーコードの品目コードと検品表が誤っている場合はエラーとなるため誤出荷の防止が可能になります。
積込	積み込み	積み込み時にはドライバーによる検品表の目視チェックと積み込みサインを頂く運用をし、積み込み間違いの防止を行います。
その他	作業方法の変更 * その他の施策	ピッキング後に仕分けラベル付きのピッキングリストをケース毎に添付し、商品間違いを軽減することが可能です。

2. 導入の流れ

2.1 導入までのステップ



2.2 教育・運用テストの概要

Sherpaを習熟するために

教育ではSherpaの基本操作を覚えるために行います。運用テストについては、業務を覚える為を実施して頂きます。スムーズな本番導入を行うためにお客様主導で行って頂きます。

教育(お客様作業)



目的:【業務習熟の定着化】
ユーザの方々が、新システムの利用方法や、新業務フローでの運用を理解し、稼働後の業務習熟の定着化を図るため

方法:弊社が標準操作説明資料を用いて機能毎にキーマンへ説明
キーマンから実際利用される方へ操作説明を行う

理由:
キーマンのスキルアップを向上させる
キーマン・担当者の習熟度を向上させる

習熟判定

運用テスト(お客様作業)



目的:【システムの安定稼働】
日々の業務管理や業務要件に変更があった際のメンテナンスを容易に行えるようにするため



- ・主要業務導入調整資料で仮運用をする
- ・細かい修正点をマスタ変更によって反映

稼働判定

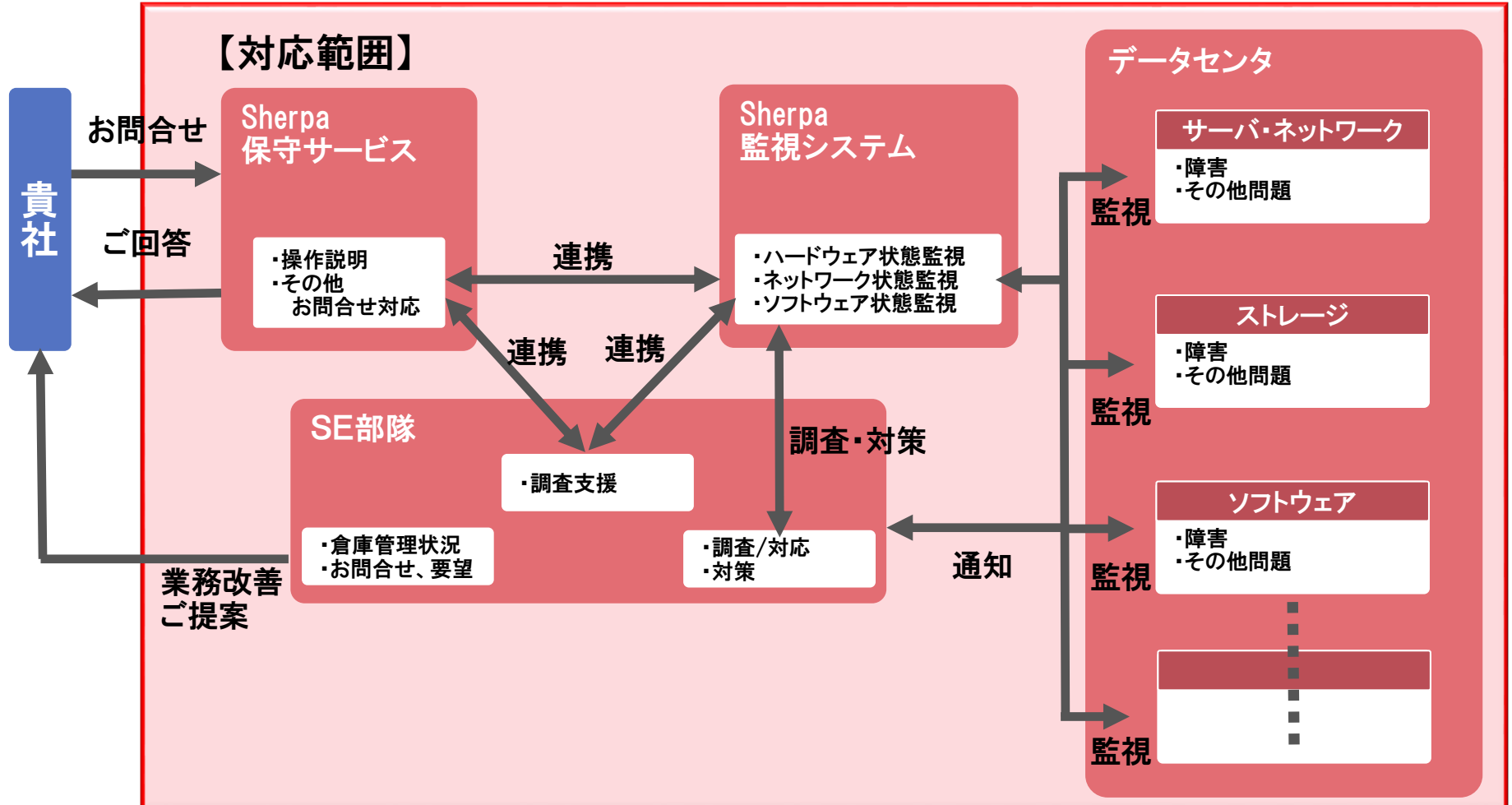
3. 保守サポート

3.1 稼働後のサービス提供について

本番稼働後は、システムに関する保守はF&Lにてトータルサポート

操作説明などに対応するため、問い合わせ専用窓口を設置しております。

また、システムに関する死活監視や障害(異常終了等)については、常時監視しており迅速な対応が可能です。



3.2 運用保守問合せサポートとサービス提供時間

(1) Sherpa運用保守問合せサポート内容

Sherpaサポートデスクにて各種問い合わせ対応・障害時の復旧支援サービス情報提供など実施します。

(2) 作業内容

事前に登録されているご担当者からの各種お問い合わせに対してご回答させていただきます。

・Sherpaサポートデスク受付時間: 平日9:00～17:00

(3) Sherpa定期運用

事業継続運用の為、各サービスの再起動、バックアップなどのため毎日閉塞時間を取らせて頂いております。

・Sherpaの利用時間: 1:30から25:00

・1:00 ~ 1:30は 画面を閉局し、各メンテナンスを行います。

(4) サービス保全日

サービス保全日は毎月第2日曜日1:00 ~ 3:30の間Sherpaのサービスを閉塞致します。

※サービス保全日にシステムバックアップを取得します。

※共有機器の入れ替え等大規模システムメンテナンスの場合は、2時間以上閉鎖することがあります。

HITACHI
Inspire the Next